

■ 施工手順

1. 下地状態の確認

- ① 無処理の鉄板の場合は、エポキシ樹脂系の防錆塗料を塗布・乾燥する。鉛丹系など強度のない防錆塗料が塗布してある場合は、鉛丹系防錆塗料を落とし、エポキシ樹脂系防錆塗料を塗布する。
- ② 金属板表面に油分などの汚れがある場合は、洗剤や溶剤などで汚れを取り除き、乾燥させる。
- ③ 突起物はサンダー等で削り、平滑にする。
- ④ タワミや動きが大きいときは、責任者と協議し、ビスなどで固定する。

2. 床材の張り付け

- ① ウレタン系接着剤「プラゾールUF-ライト」を下地に塗布し、所定のオープンタイムをとる。
 - ② 床材を張り付け、圧着可能時間内にローラー等を掛け、床材と接着剤を十分に馴染ませる。
 - ③ 床材張り付け後、24時間程度は極力人通りを避けると共に、1週間程度は直射日光や急激な空調の使用などを避け、換気をよくして養生する。
- ※ ステンレスやアルミ、その他特殊な金属が下地の場合は、事前にテスト張りを行ってください。
24時間後、下地に着かない状態で接着剤が剥がれる場合は、サンダー等で下地を目荒らしてから床材施工してください。

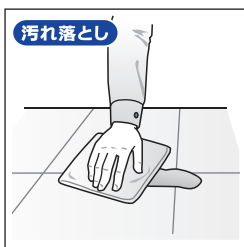
■ 使用商品 (施工㎡数)



● プラゾールUF-ライト

商品番号	荷姿	施工㎡数の目安
286-383	16kg	43㎡/16kg

高品質アルミ下地接着剤
F☆☆☆☆



汚れ落とし



接着剤塗布



床材張り付け



ローラー掛け

※ 備考

- (1) 床材及び接着剤は、極力前日までに搬入し、施工環境に慣らしておいてください。
- (2) ビニル床シートなどを施工する場合は、施工に先立ち、巻癖、伸縮を取り除くため、仮敷きを行ってください。タイル系の床材は、反りなどが生じないように、平滑な場所で保管してください。
- (3) 冬季低温時(5℃以下)の施工は、ジェットヒーターで採暖を取るなどして施工を行ってください。
- (4) 乾燥モルタル下地などと比べ全く吸い込みがないため、接着剤塗布後のオープンタイムや養生期間は、長めにとるようにしてください。
- (5) 施工後、急激な温度変化が生じると、床材が伸縮し、目透きや突き上がり、反りが発生し易いのでご注意ください。
- (6) 床材張り付け後、床材に適した継ぎ目処理などを行ってください。

■ 注意事項

- ① ステンレスやアルミなど特殊な金属の場合は、必ずテスト張りを行ってください。
- ② 「プラゾールUF-ライト」を使用する際は、火気・換気に十分注意してください。
- ③ 金属下地に動きがある場合は、どのようなパテを使用してもパテに割れが生じますので、動きを固定してから床材施工を行ってください。
- ④ 下地が凹凸のある縞鋼板の場合は、「アースコート60」で凹凸を完全に埋め、床材、使用環境に応じた接着剤を選定して施工を行ってください。
- ⑤ 床材の種類によっては、接着しにくいものもありますので、事前に試験施工して確認された上で本施工を行ってください。
- ⑥ 使用に際しては、各製品の使用方法、注意事項などを必ずお読みいただき、十分にご理解頂いた上でご使用ください。尚、製品の取り扱いに関する詳細が必要な場合は、安全データシート(SDS)をご参照ください。